

## 境港水産物直売センター整備方針及び計画（案） 概要版

### ○整備概要

- ・既存店舗の南側に新築（約2,500㎡、平屋）。中央通路に「飲食エリア」を配置。
- ・事業費は、6～7億円（詳細未定）。
- ・**農林水産業みらい基金による支援を活用（補助率は8/10で申請）**
- ・2号上屋と同時期の供用開始を目指す。整備中は、既存店舗での営業を継続する。

### ○目指すべき姿

- ・直売センターの整備は、港に隣接する景観と地元で水揚げされる水産物の魅力を最大限活用しながら、さかいみなと漁港・市場活性化ビジョンを策定した同活性化協議会や行政（市、県、国）等の関係者が一丸となって、境港地域の活性化を図るものとする。
- ・山旋漁協は、組合員の利益だけではなく、**SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成を意識しながら、地域・社会への貢献を視野に入れた直売センターの整備を行う。**

項 目	内 容
情報発信機能の整備	<p>①パネル・映像等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>未来に向けた</b>漁業者の取組 →マグロ資源管理、アジ等のTAC管理 →「森・川・海」の保全活動</li> <li>・高度衛生管理の取組</li> </ul> <p>②漁港見学ツアーとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直売センターをツアーの発着点とする。</li> </ul> <p>③「蟹取県」の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>水揚げ日本一の「ベニズワイガニ」のPR等</b></li> </ul>
ハブ施設としての整備	<p>①「道の駅」機能の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>24時間利用可能なユニバーサルデザイントイレ等</b></li> </ul> <p>②新たな売場、売り方の模索</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品にQRコードを添付し、簡単に調理方法等を検索可能にする。</li> <li>・<b>三密対策、プラスチックゴミの削減。</b></li> </ul> <p>③新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト干物の<b>開発、飲食店の新メニューとして提供。</b></li> </ul> <p>④水木しげるロード等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水木しげるロード<b>観光案内所へのタブレット設置（ライブ配信）</b></li> </ul> <p>⑤インバウンド対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各店舗でその場で食べられる飲食を提供。</li> <li>・<b>外国語看板の設置、外国語を話せる人材の育成。</b> 翻訳機（ポケトーク）の導入、外国籍の方の雇用等、既に取り組んでいる事項もある。</li> </ul>
境港市民・子供に関わられた施設の整備	<p>①子ども食堂、地域食堂の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>定期的</b>に開催する。</li> <li>・子ども食堂を運営する団体等に食材（産地・生産者がわかる水産物、下処理含み）の提供。</li> </ul> <p>②食育・魚食普及活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>子どもからシニア世代まで</b>参加できる、魚の栄養や調理方法を学ぶ活動を支援する。</li> </ul>

農林水産業みらいプロジェクトに採用されなかった場合など、事業計画の見直しが想定される。